

新町スポーツクラブ（群馬県）

クラブ間交流 群馬県新町SCと沖縄県なきじんSC

群馬と沖縄の交流 なぜ？

8月25日から8月28日までの4日間、新町スポーツクラブ（以下 新町SC）は、沖縄県なきじんスポーツクラブ（以下 なきじんSC）と糸満市西崎アスリートスポーツ少年団（以下 NAC）と青少年交流を行い14名の中学生会員が参加しました。

新町SCは、平成11年の夏から、NACと交流を始め、海なし県の青少年がマリンスポーツを体験するとともに平和学習による命の大切さを学ぶために沖縄県の青少年と交流するプログラムをスタートしました。その後、平成16年なきじんSCの設立準備開始とともになきじんSCとの交流もプログラムを加えたことから本格的なスポーツクラブ間の交流が始まりました。

例年、プログラムの前半をなきじんSCのみなさんと交流し、主にニッパーボードを使ったマリンスポーツをなきじんSCの指導員の指導によって体験し、なきじんSCの子ども達とも交流しています。プログラム後半は、糸満市において、平和祈念資料館と祈念公園内の平和の礎・群馬の塔等でNACの神谷指導者から沖縄の歴史、昭和20年の沖縄戦について、詳しい説明を受けて、戦争の悲惨さと命の大切さを学び、その後、NACの団員とビーチで交流をしています。この沖縄県内のクラブ間交流プログラムは、高校生以上になってからのドイツ・ニュルンベルク市国際交流事業に活かせるように、毎日感想文を書くことを義務づけています。

今夏の交流は、予定になかったプログラムをなきじんSCのみなさんとNACのみなさんの協力で体験できて最高に有意義なクラブ間交流になりました。

自然と人の優しさに触れる感動プログラム

なきじんSCのクラブハウス到着直前に激しい雨になりましたが、バスから移動する時は晴れてくれました。お互いに挨拶を交わして、早速、村民の浜へ エメラルドグリーン的大海だけではなく、歓迎の「虹」が海に架かる景色の出迎えで海なし県の青少年は大感激でした。実は、平成16年の夏、初めてなきじんSCと交流を始めた時も海に虹が架かり、この事業が継続できる予感があってうれしかったサプライズでした。

マリンスポーツで重要なことは、安全に楽しむことであることをなきじんSCの指導員から指導を受けて緊張している姿が初々しく見えました。「バディー」の合い言葉で2人1組みになり、ニッパーボードを使ったマリンスポーツを初めて体験して、協力することで安全に助け合いながら楽しむ方法を学びました。既に学校が始まっていることから、夕方17時頃、なきじんSCの小学生会員が浜に集まり始め、いよいよ会員同士の交流が始まりました。なきじんSCの小学生会員はニッパーボードを使いこなしていますが、新町の中学生達はぎこちない動きなっています。しかし、今まで見たことがない美しい海で泳げることから全員が良い笑顔です。海での交流の最後は、ニッパーボードのリレーです。チームは、新町SCとなきじんSCの合同チームを2チームとしてリレーを行い、負けたチームは、勝ったチームが命令をした言葉を「尻文字」で表現する約束をしたので必死で競争して楽しみました。

夕食は、なきじんSCのみなさんが準備してくれた肉・焼き鳥などを新町SCの青少年が自ら焼いて食べるように配慮していただき、沖縄独特の麺を使った焼きそばだけは、なきじんSCの指導員が美味しく作ってくれました。空は、満天の夏の星空にほぼ満月。ここで、なきじんSCのみなさんからサプライズが・・・。月明かりが海に道を描いているような景色のなかで、三線の弾き語りや沖縄民謡を聴かせてくれました。最後には、みんなでカチャーシーを踊って最高の雰囲気の中で交流をしめました。

今回は、新町SCの青少年にとって自然が持っている優しさとなきじんSCのみなさんから受けた人の優しさが心に強く響いた交流になりました。受入れてくれたなきじんSCの矢貫さんに感謝です。

新町SCが考える総合型地域スポーツクラブ間の交流事業の意義

新町SCがクラブ間交流を重視している理由と意義は、次のとおりです。

- ① スポーツクラブ会員（青少年）が、他の地域を知ることによって自分の地域を愛する心を持ってほしい。
- ② 地域を愛せる人材を育成することで、将来のクラブ運営に熱意を持って関わる人材を継続的に育てることを可能とする。
- ③ 国内・国際交流事業は試合形式の交流だけでなく、地域の文化と歴史を学び、人の絆の重要性を体験することでコミュニケーションスキルを向上させる。

クラブ間交流における課題（試合形式だけが交流ではない）

クラブ間交流は多額の費用が必要ですが、新町SCは全額会費収入と参加費で賄っています。しかし、ニュルンベルクスポーツクラブが新町と交流する場合、派遣も受入も国・州・市から補助金があり参加者の経費負担が少ない環境にあります。日本のクラブ間交流は、試合形式が主流であり、あまり人材育成に力点をおいたクラブ間交流は認知されていません。是非、このようなクラブ間交流にも関心を高めて頂きプログラムをより充実して継続的に交流事業ができるように toto を始めとする各種補助金から補助が受けられるようにお願いしたい。

今年参加した中学生の感想

- ① 沖縄のきれいな海となきじんSCと糸満市NACで指導してくれたり、一緒に交流してくれた人達に
出会えて友達になれたことがうれしかったです。
- ② 群馬の山の景色がみたいと沖縄の人達に言われて、群馬県が褒められたような気持ちになってうれ
しいです。海がある沖縄と山がある群馬、お互いにきれいな自然を体験できる交流がしたいです。
- ③ 自然も命も大切なことがよくわかりました。沖縄も沖縄の人達も大好きです。

(小出利一 新町スポーツクラブ チーフクラブマネージャー)

【新町スポーツクラブ・プロフィール】

1. 設 立 年月；2000年11月 設立母体 スポーツ少年団
経緯；日本体育協会から育成モデル地域指定を受けたこと
2. 地 域 人口；12,500人
特徴；埼玉県境の狭い地域に多数の食品工場と自衛隊がある
3. クラブ 会員数；約450人
特徴；ユースボランティアが多数活動する、青少年中心のクラブ
予算規模；平成21年度予算 9,000千円（自己財源率100%）
4. 連絡先・所在地 〒370-1301 高崎市新町2483-2
TEL&FAX 0274-42-2198
URL；<http://www15.wind.ne.jp/~svc/index.html>
Email；koide.svc@chive.ocn.ne.jp

